

保健だより

令和4年 2月

岡山瀬戸高等支援学校

感染力の強いオミクロン株の感染急拡大に伴い、岡山県全域に1月27日～2月20日の期間、「まん延防止等重点措置」が適用されました。引き続き、手洗いやマスクの着用、風邪症状がある場合は、発熱等がなくても登校を控えるなどの感染の拡大防止の徹底に、ご理解、ご協力をお願いします。



そろそろ注意を・・・

日本気象協会によると、岡山県などの中国地方では、2月上旬から花粉が飛び始めているそうです。花粉症の人はしっかりと対策をしましょう。

主な症状は右のイラストの通りです。目が充血して涙が止まらない、鼻水のかみすぎで鼻血が出るなど、症状のひどい人は、医師に相談して処方箋を出してもらいましょう。また、鼻水がよく出る人は、箱ティッシュを持ってきておくと便利かもしれません。鼻のかみすぎで鼻血を出さないよう注意してください。

花粉症の主な症状



梅毒患者が増えています

梅毒は性感染症の一種で、近年、国内での梅毒の患者報告者数が増加しています。岡山県はなんと梅毒の患者数が全国4位（2021年）という多さです。

梅毒ってどんな病気？

- 感染すると、感染部位（性器など）にしこりができたり、全身に発疹が出たりします。
- 全く症状が現れないこともあるため、感染に気がつかないこともあります。
- 治療せずに放置しておく、重症化するおそれがあります。

感染しないためには、何に気を付けたらいいの？

- 最も効果的なのは、性的接触をしないこと。
- 粘膜同士の直接の接触を避けること。
 - 性的接触の際にコンドームを使用することで感染のリスクを減らすことができます。
※ピルでは性感染症は予防できません。
- カミソリや歯ブラシの共用を避けること。

性感染症を予防するには正しい知識と相手を思いやる気持ちが大切です。性感染症の多くは病院で適切な治療を受ければ治る病気です。性感染症に感染した場合、相手も感染している可能性があるため、検査・治療は一緒に受けることが重要です。女性は産婦人科、男性は泌尿器科へ受診しましょう。また、最寄りの保健所で無料・匿名で検査を受けることができます。